

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成24年12月27日 (2012.12.27)

【公表番号】特表2012-511244(P2012-511244A)

【公表日】平成24年5月17日 (2012.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2012-019

【出願番号】特願2011-540015(P2011-540015)

【国際特許分類】

F 2 1 V 13/12 (2006.01)

H 0 1 L 33/60 (2010.01)

F 2 1 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 2 1 V 13/12 3 0 0

H 0 1 L 33/00 4 3 2

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月6日 (2012.11.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

照明装置であって、

・切欠き (5) を備えた基体 (1) と、

・少なくとも前記切欠き (5) の一部によって構成されている反射器 (51) と、

・前記切欠き (5) 内に配置されている、少なくとも 1 つのオプトエレクトロニクス半導体構成部分 (20) とを有しており、

当該半導体構成部分 (20) は光学部材 (3) を有しており、当該光学部材は、作動中に前記半導体構成部分 (20) によって放射される電磁ビームの少なくとも一部を前記反射器 (51) へ向けるように構成されており、ここで前記電磁ビームの少なくとも一部は、前記半導体構成部分 (20) の光軸 (42) に対して少なくとも 110° の角度で偏向されており、

・当該照明装置のビーム出射面 (61) は、前記半導体構成部分のビーム出射面 (44) の総計の少なくとも 2 倍の大きさを有している形式の照明装置において、

前記半導体構成部分 (20) の半導体チップ (4) のビーム出射面 (441) に前記光学部材 (3) が配置されており、前記電磁ビームの偏向は少なくとも部分的に、全反射によって行われる、

ことを特徴とする照明装置。

【請求項 2】

前記基体 (1) は少なくとも 2 つの切欠き (5) を有している、請求項 1 記載の照明装置。

【請求項 3】

当該照明装置のビーム出射面 (61) の部分面の光密度と、当該照明装置のビーム出射面 (61) 全体の光密度の平均値との相違は 20% を下回る、請求項 1 または 2 記載の照明装置。

【請求項 4】

前記電磁ビームの偏向は少なくとも部分的に、屈折によって行われる、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項記載の照明装置。

【請求項 5】

電磁ビームを通す、ビーム透過性のカバープレート（8）が前記切欠き（5）を覆う、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項記載の照明装置。

【請求項 6】

前記カバープレート（8）は、前記基体（1）の外面（11）と同一平面を成す、請求項 5 記載の照明装置。